



# 第10回 妊娠と 地域女性のくすりの 悩みの支援と情報提供ができる かかりつけ薬剤師になる!!

## 保険薬局薬剤師向け「妊娠と薬情報センター」研修会

コロナ災禍で第一線で頑張っておられる皆様に感謝を込めて。

本邦では、2016年2月の薬機法発出による「かかりつけ薬剤師」「健康サポート薬局」の制度が本格的に稼働し始めました。女性の健康支援は、その制度の中で大変重要な項目の一つとなっており、妊娠と薬をめぐる様々な課題解決や地域住民の方への教育啓発活動は大きな柱になると考えられます。

妊娠と薬に関する問題を解決するために国家プロジェクトとしてスタートした「妊娠と薬情報センター」も発足後15年が経過し、様々な研究成果、実臨床における経験事例が積み重なってきました。その成果を国民全体に還元し、さらに研究を進展させていくためには、地域の薬剤師皆様のご協力が必要になります。

そのために保険薬局薬剤師(かかりつけ薬剤師)の方を対象とした研修会の開催を企画いたしました。かかりつけ薬剤師の方々に、妊娠と薬に関する考え方、妊娠と薬情報センターのこれまでの成果や理念を理解いただき、地域住民の方への周知や妊娠・授乳相談の橋渡しとしてご尽力をいただきたいと考えております。

また、この分野について勉強する機会が少ないと感じておられる病院薬剤師の先生方も、是非ご参加ください。

2021年

5月9日

10:00~16:00 WEB開催

参加費(資料送付代込み)

4,500円

すべての時間参加された参加者全員に修了書が発行されます

※年間パスポートは使えません

定員:保険薬局薬剤師 300名  
薬剤師認定シール3単位(予定)

### 研修内容 / 薬剤師研修単位 3単位予定

プロローグ

10:00 ~ 10:30 **妊娠と薬情報センターの理念・活動実績とこれから**  
◎講師 妊娠と薬情報センター センター長(医師) 村島温子

妊娠と薬情報センター  
に関わる知識研修

10:30 ~ 11:15 **妊娠と薬の分野で必要な産婦人科の基礎知識**  
◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 藤岡 泉

11:15 ~ 12:00 **妊娠中の薬に関する考え方とカウンセリング方法**  
◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター・薬剤部兼務(薬剤師) 宇野千晶

12:00 ~ 12:30 **授乳中の薬に関する考え方**  
◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 肥沼 幸

～昼食休憩～

妊娠と薬情報センター  
の紹介・関わり  
:技能研修

13:30 ~ 14:00 **妊娠と薬情報センターでの相談業務の実際**  
14:00 ~ 14:30 **妊娠と薬情報センターの問診票の記載方法(聞き取り方)**

～休憩15分～

14:45 ~ 15:45 **妊娠・授乳相談への基本対応に関する模擬演習**  
(症例提示・発表・解説)

エピローグトーク

15:45 ~ 16:00 **【まとめ】アンケート記入と質疑応答**

主催:特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women / 共催:妊娠と薬情報センター 妊娠と薬情報研究会

申し込みはこちら  
(DPSWD配信に必要)



参加費お支払い



BASE決済

【銀行振込】

三菱UFJ銀行 築地支店 普1124015

特定非営利活動法人ヘルシーエイジングプロジェクトフォーウイメン

日本薬剤師研修センター研修受講シールをご希望の方は、NPO法人HAPのHP掲載「HAP研修申込管理システム」に登録願います。なお氏名・薬剤師免許番号を含む受講者名簿は、公益財団法人日本薬剤師研修センターに報告いたしますので、あらかじめご了承ください。

\*認定シール発行条件:①当日は顔が見える形での参加をいただく、②実際に参加されているかをこちらで随時確認させていただく、③キーワードが3個出ますので当日の24時まで登録フォームに入力いただく、④キーワードが間違っていた場合はシールは発行しない、⑤シールは後日郵便(レターパック)で発送します。その郵送管理費として500円が発生し、シール発送時に請求書を同封します。⑥参加費・シール費用の返金はししません。